

現代GP

2007年度文部科学省
現代的教育ニーズ
取組支援プログラム

contents

TOP

現代GPとは？

地域創成プログラムとは？

- 地域創成プログラムの全体像
- 人材育成
- 地域貢献

特集

派遣講師公開講座

イベント開催報告

実施報告書

- 「地域創成プログラム」の実践
2007～2008年度報告書
- 「地域創成プログラム」の実践
2008年度事業報告書
- 2007年12月22日 選定記念
キックオフ・シンポジウム
実施報告書

お問い合わせ

「地域創成プログラム」の実践

～「もの・まちづくり」をテーマとした地域間交流～

特集「マイルポスの運営」

- 第1回 マイルポスト スタッフインタビュー (2009年01月26日UP)
- 第2回 マイルポスト スタッフミーティング (2009年02月02日UP)
- 第3回 日比野商店街活性化プロジェクト会議 (2009年02月09日UP)

第1回 マイルポスト スタッフインタビュー



本学の学生が運営するまちづくりカフェ『カフェ&ベーカリー マイルポスト』が2009年1月末に、オープン2年目を迎えます。年の瀬も押し詰まった12月某日、定休日のカフェでは、学生スタッフや商店街関係者などが集まってミーティングが開かれていました。マイルポスの運営に携わっているさまざまな関係者に、この1年間を振り返って感じることや、今後の目標などを伺いました。

マイルポスト3代目店長 インタビュー



店長 松枝美帆さん
経済学部経済学科3年

—マイルポスの運営を通して学んだことを教えてください。

私はホールを担当していますが、オープンしたばかりのころは、先輩から「お客様に対する心遣いができていない」と叱られることもありまして。たとえば、お年寄りや子供さんが来店したときにドアを開けるなど、ちょっとした気配りができていないことを指摘され、ああそうか…と思ったんです。そこで、できていないことを1日1個ずつ改善するよう心がけて接客をするようにしました。また、どんな気遣いをしてもらったら嬉しいかを自分なりに研究して、それを実践したんです。今ではオープン当初に比べ、すいぶんお客様への気遣いができるようになったと思います。つい最近、お客様から嬉しい言葉をかけていただくことがありました。車椅子のお客様が来店されたとき「ここはいつも笑顔でドアを開けてくれるから、また来なくなるね」と言ってくださったんです。とても嬉しくて、もっといい接客をしようという励みになりました。

—店長に抜てきされたとき、どんな気持ちでしたか。

2008年9月から3代目店長を務めています。最初は「私でいいのかな」という不安がありました。私はこれまで人の上に立つことはありませんし、前の店長を見ていて、とても責任の重い仕事だと感じていました。でも、学生時代に店長としてカフェの運営を任せられるということは、めったにない貴重な経験です。この店への強い愛着もあったので、頑張ってみようと思いました。実際にやってみると、副店長やスタッフのみんながサポートしてくれるので、店長だからと気負うことなくリラックスして仕事をさせてもらっています。立場上、いろいろな人と交流させていただける機会も多く、いろいろな面でやりがいを感じます。



—今後の目標を教えてください。

マイルポストをもっと地域に浸透させていって、ここがコミュニティの拠点になるようにしたいです。また、毎回好評の「親子(ン)作り教室」などのイベントを通じて、より一層地域交流に貢献したいですね。さらに、フェアトレードも、もっと地域に広めていきたいです。私はこのマイルポストに参加して、はじめてフェアトレードについて知りました。ここで雑貨やコーヒーなどを提供することが国際貢献や社会貢献につながるので、社会人になってからもこの経験を生かし、フェアトレードを広める活動をしていきたいです。

学生スタッフの声



副店長 土方恵太さん
経済学部政策学科3年

「大学生活が充実しています」
地域のイベントを企画したり、いろいろな人と交流したり、マイルポスの活動を通じて多くの経験をするのが、生活や人生が充実しているのを感じます。よい大学生活を送るためには自分次第だと思うのですが、私はマイルポストに参加していることで、とても充実した生活を送っていると感じています。これから本格的に就職活動の時期を迎えますが、採用面接のときはもちろん、社会人になってからもマイルポストでの経験を生かしていきたいです。



吉橋健太さん
外国語学部国際文化協力学科2年

「自分自身が大きく成長できるチャンスです」
7月に「キャンドルナイト」というイベントを開催したのですが、環境クイズという企画をやることになり、僕も環境やフェアトレードについてのいろいろ調べました。調べてみると知らないことが多くあり、「知るって楽しい。もっと勉強しよう」と思うようになりました。社会人になれば、自分の企画が通るといっては大変なことだと思います。学生の僕たちがマイルポストでしているイベントの企画を立て、実行できるのはとてもいい勉強になりますし、自分自身が大きく成長できるチャンスだと思っています。



長野裕輝さん
商学部情報ビジネスコミュニケーション学科2年

「お客様が喜ぶメニューを考えるのが楽しい」
マイルポストには、自分たちで考えて実行するという楽しさがあります。僕はキッチンでデザートを担当しているので、「お客様に喜んでもらうためにどんな美味しいものを作ろうか」と考える楽しさもあります。秋はカボチャ、冬はミカンなど、季節感のある食材を使うことにこだわって、インターネットのレシピ情報を参考にしながらメニューを考えます。お客様から「美味しい!」と言っただけだと嬉しいですし、これからは頑張って美味しいデザートを作ろうという意欲が湧きます。

Next>>

第2回 マイルポスト スタッフミーティング

